

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.184 令和6年5月1日



令和6年4月オープンのダニエル イノウエ ミュージアム

新議場の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3月定例会から(当初予算・議案審議)・・・・・・・・	4
ここが聞きたい! 一般質問16人の議員が登壇・・・・・・・・	10
委員会からの活動報告・・・・・・・・・・	19
聞いてきましたまちの声(表紙関連インタビュー)	
ダニエル イノウエ ミュージアム 支配人・・・・・・・・	24

傍聴してみませんか

を紹介します。～

議場の配置は、議員と執行部が対面する方式を採用しています。

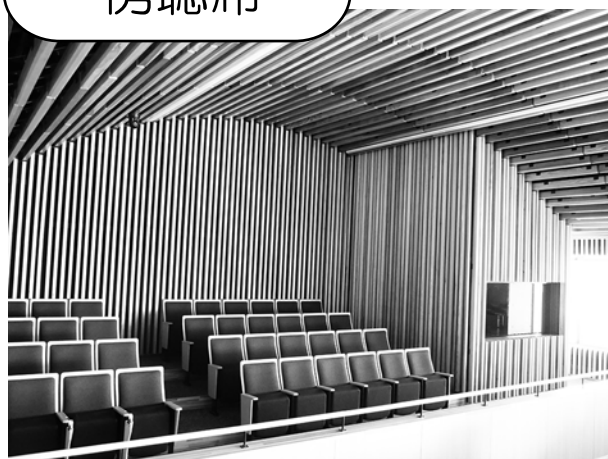
壁、天井、家具等に八女産の杉をふんだんに使用し、また自然光を取り入れることで明るく開放感のある空間となっています。

令和6年5月7日から新庁舎での業務を開始し、市議会は6月定例会から新議場でのスタートとなります。

議員が議会でどのようなことをしているのか、また市政がどのように運営されているのかを、議会傍聴を通じて知ることができます。

ぜひ、議会傍聴にお越しください。

傍聴席



傍聴席は48席あり、車椅子用のスペースも設けられています。また防音の部屋もありますので、小さなお子さんを連れての傍聴もできます。

《議会からのお知らせ》

八女市議会には8つの会派があり、新庁舎移転に伴い会派室が新たに整備されました。今回は、八女市議会の会派をお知らせします。(会派結成届提出順)

※会派とは…議会内において同一の理念かつ同様の政策を有する議員2人以上によって結成された議員の団体のことです。

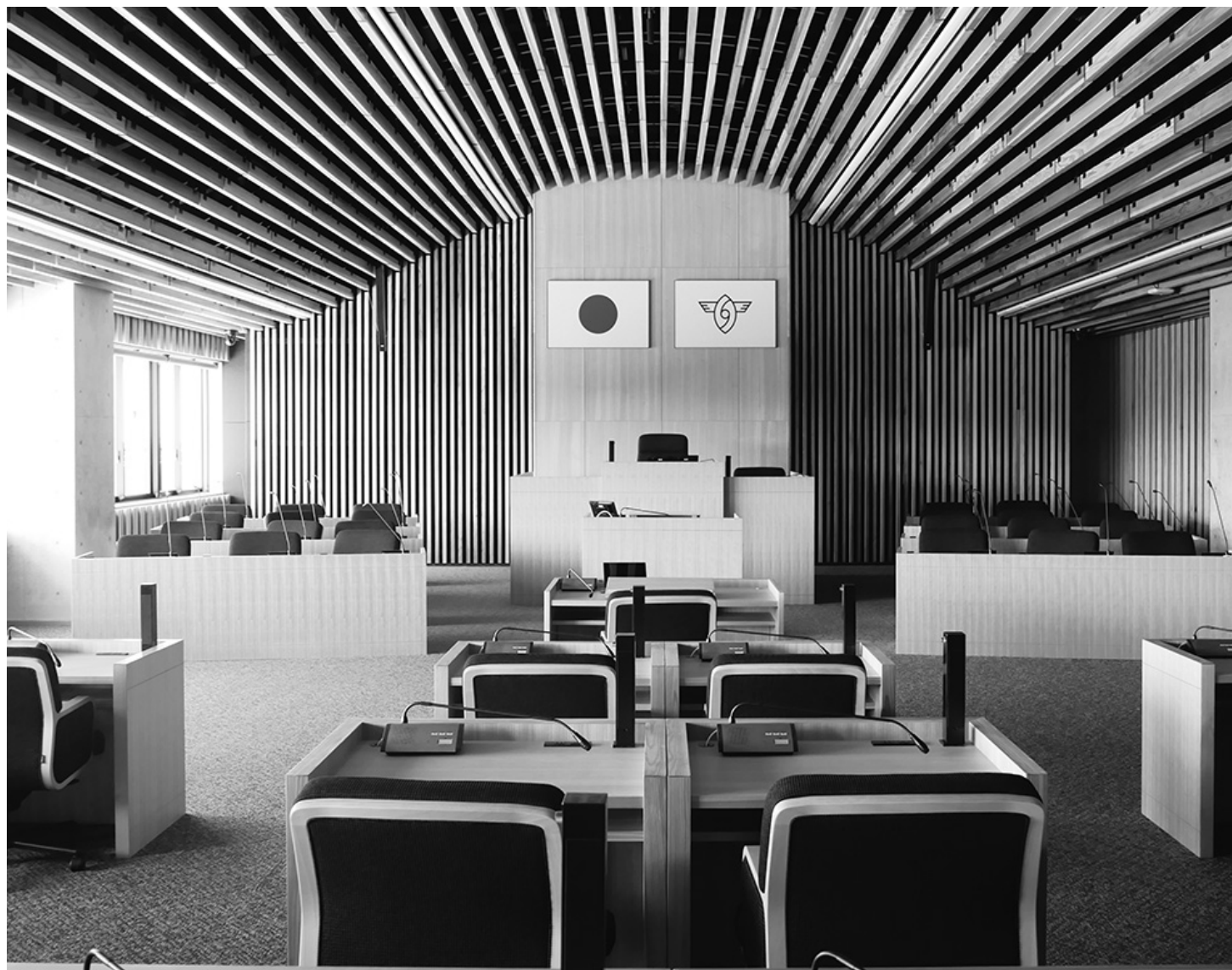
会派名	所属議員
新風	○堤 康幸、川口 堅志、栗原 吉平、高山 正信
日本共産党八女市議団	○森 茂生、古賀 邦彦
創生会	○牛島 孝之、石橋 義博
市民クラブ	○川口 誠二、田中 栄一
山波会	○服部 良一、小山 和也、久間 寿紀
政策ミライ	○中島 信二、栗山 徹雄、高橋 信広、原田 英雄
公明	○三角 真弓、水町 典子
あかつき	○花下 主茂、坂本 治郎

※橋本 正敏議長は無会派

○は代表者

新しい議場で議会

～新庁舎4階の議場



市民とともに歩む

議会をめざして



新庁舎が完成し、八女市議会の新しいページが開かれました。バリアフリー化、整備された多目的トイレ、小さなお子さんを連れて来ていただくことができる親子傍聴席の設置など、すべての方が訪れやすい議場となっています。

今後も、市民の皆様の期待と信頼にお応えできるよう新議場においても、より一層の努力を重ねてまいりますので、議会の傍聴はもとより、ぜひとも気軽に議会へお越しください。

八女市議会

議長 橋本 正敏

一般会計予算の主な施策

※予算額は千円未満切り捨て

新規 市制70周年・合併15周年記念事業 1399万円

八女市市制70周年・合併15周年記念事業として、福岡市内での物産展の開催や、市内の特産品をはじめとした、観光資源や伝統文化の情報発信事業を行い、県内外にPRすることで、観光客の誘致に取り組みます。

拡充 こども医療措置費（無償化分） 1166万円

小・中学生の入院外に係る医療費の自己負担が令和6年10月の診療分から無料となります。

新規・拡充事業ピックアップ

- ・交通安全事業（高齢者運転免許証自主返納支援事業）【一部新規】
- ・非常備消防総務費事業（消防団員家族応援交付金）【新規】
- ・介護人材確保事業【拡充】
- ・やめっこ未来応援金【一部新規】
- ・岡山小学校校舎等整備事業【新規】
- ・岩戸山歴史文化交流館運営事業【一部新規】

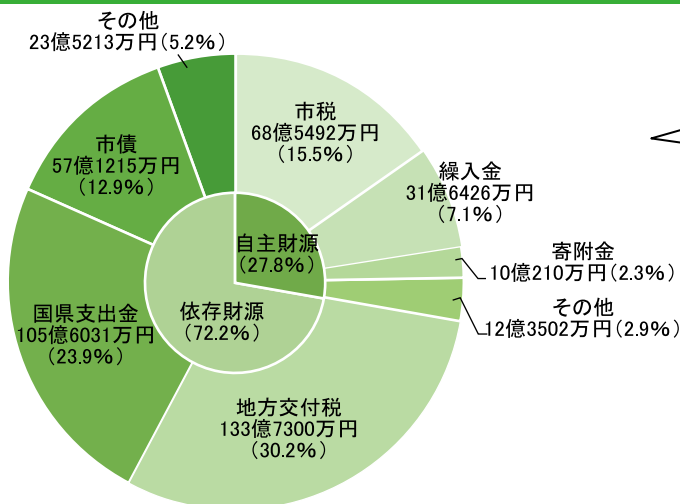
3月 定例会

3月定例会は、2月21日から3月14日までの23日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、総額442億5389万4千円の令和6年度一般会計予算案、条例改正案などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意しました。予算は予算審査特別委員会を設置し、分科会（各常任委員会）ごとに集中的に審査しました。

また、令和6年度一般会計予算に、住民税非課税世帯等への給付金等に取り組むため、6億4434万8千円を追加する補正予算を可決しました。

（委員会審査8～9ページ／賛否表20～23ページ）

可能なまちづくりへ～



一般会計歳入の内訳

令和6年度一般会計当初予算

442億5389万円

▼令和6年度各会計の当初予算

区 分		予算額
一 般 会 計		442億5389万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 費	84億7588万円
	介 護 保 険 事 業 費	80億5116万円
	後 期 高 齢 者 医 療	12億9519万円
	矢 部 診 療 所	6753万円
	串 毛 財 産 区	80万円
	木 屋 財 産 区	520万円
企業会計(水 道 事 業)		17億4530万円
企業会計(下 水 道 事 業)		19億6152万円

令和6年度予算が成立

反対討論(要旨)

すべてに反対するものではなく、災害対応など早急に執行すべき予算も計上されているが、慎重な審議が必要にもかかわらず、提出された予算書が訂正されるなど、議会、市民軽視であり反対する。

(石橋 義博)

賛成討論(要旨)

少子高齢化が進む八女市において、山積する諸課題に対処するために創意工夫された積極予算となっており、市民生活の向上と地域経済の活性化に資するものと評価し賛成する。

(原田 英雄)

反対討論(要旨)

すべてに反対ではないが、マイナンバーカードの利用拡大を進めるための関連予算、同和事業関連予算、水泳指導業務委託予算の計上、不登校児童生徒への対策予算が不十分であり、反対する。

(森 茂生)

拡充

特別保育（その他）事業 （広域的保育所等利用事業） 2770万円

自宅近隣に入所可能な保育所等が見つからない児童に対し、自宅から遠距離にある保育所等への送迎を支援します。

拡充

老朽危険家屋等 除却促進事業 1500万円



生活環境の改善や安全で安心なまちづくりを推進するために、老朽危険家屋等を除却する方に対して交付する補助金を拡充します。

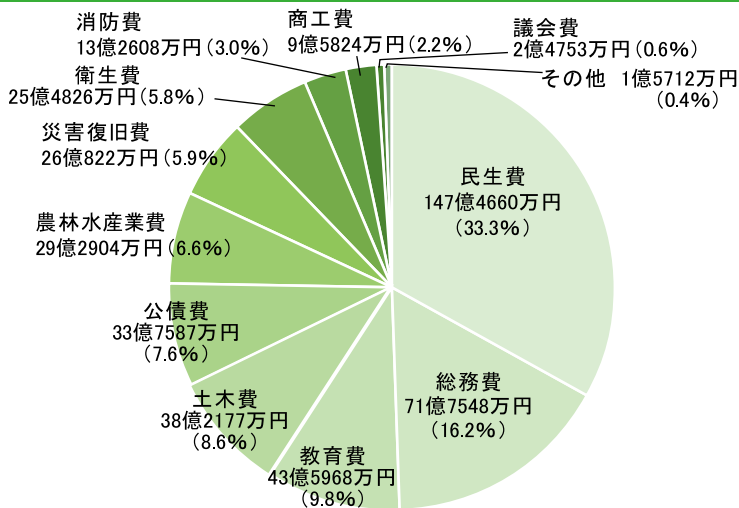
〔 補助率： 1 / 3 → 1 / 2
上限額： 30万円 → 50万円 〕

～将来を見据えた持続

歳出予算用語解説

- 民生費：児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等
- 総務費：全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等
- 土木費：道路、河川、住宅、公園など公共施設の建設整備の費用
- 公債費：借入金の元本や利子などの返済費用
- 衛生費：ごみなど一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

※円グラフと表は四捨五入



一般会計歳出の内訳

議案審議

条例改正

八女市個人番号の利用及び特定個人情報
の提供に関する条例の一部を改正

【概要】行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係条例を改正するものです。

反対討論(要旨)

根拠法の改正に伴う条例の改正だが、改正により、今後情報漏洩につながる可能性がある。世界

(森 茂生)

八女市ほたと石橋の館条例の一部を
改正

【概要】八女市ほたと石橋の館の再整備に伴い、施設名称等を改正するものです。

問 今までの「ほたと石橋の館」という名称から、「八女市上陽地区観光交流施設」という名称に変更する理由は。

答 条例では、「八女市上陽地区観光交流施設」となるが、施設名称を検討した際に、マーケティング

八女市ふるさとわらべ館条例及び八女
市わらべの里公園条例の一部を改正

【概要】八女市ふるさとわらべ館わらべの里研修センターが施設の老朽化により、利活用が難しくなったため、行政財産としての用途を廃止し、また市が直営で管理できるよう、条例の一部を改正するものです。

問 わらべの里研修センターの今後の活用方針は。

答 別用途での使用を含め、施設の有効活用を検討する。

問 ふるさとわらべ館の運営を市による直営とするのはなぜか。

答 指定管理者の募集をため、令和6年4月から、会計年度任用職員を配置し、当面は市が直接管理する。



市の直営施設として管理する
八女市ふるさとわらべ館

八女市介護保険条例の一部を改正する
条例の制定

【概要】令和6年度から令和8年度までの介護保険料の基準額及び保険料率の改定と介護保険法施行令等の改正に伴い、介護保険料の段階の判定基準を改正するものです。

反対討論(要旨)

今回の改正により、基準額の月額が6200円となり、制度開始当初保険料の2倍となる。特別養護老人ホームは待機者が多く、入所しても利用料が払えずに退去した方もいると聞く。保険あつて介護なしの現実の中で、値上げをすることについて反対する。

(古賀 邦彦)

八女市人権・同和教育啓発センター条例
の制定

【概要】あらゆる差別の解消に向け、八女市人権・同和教育啓発センターを立花庁舎内に設置するものです。

反対討論(要旨)

現在でも、同和団体への過度な補助金支出がある中、さらにこのような政策が行われることは、

(古賀 邦彦)

賛成討論(要旨)

団塊世代が後期高齢者となる今後10年間は、介護給付費が増大することは明白で、基金から約3億3000万円を取り崩す上での値上げでありやむを得ない。

介護予防のさらなる強化と適切な介護事業の運営、市民の健康寿命の延伸をお願いし賛成する。

(高橋 信広)

令和5年度補正予算

一般会計補正予算

【概要】

補正の内容は、36億6385万円減額するものです。ふるさと支援寄附事業や施設型給付・地域型保育事業等の増額、令和5年7月豪雨災害の復旧事業費等の減額です。

反対討論(要旨)

地域包括支援センター業務における債務負担行為が減額補正されているが、これは、業務委託から市直営とすることによるもので、直営により男女・黒木以外の地域包括支援センターが、令和6

令和6年度特別会計予算

後期高齢者医療

特別会計予算

【概要】

予算総額は12億9519万2千円で、対前年度比4・8%の増となっています。

反対討論(要旨)

後期高齢者医療の保険料は2年ごとに見直されており、年々負担も増え、高齢者にとっては、暮らしにくい社会につながるため反対する。

介護保険事業費

特別会計予算

【概要】

予算総額は80億5116万4千円で、対前年度比3・1%の増となっています。

反対討論(要旨)

この特別会計についても、八女市介護保険条例の一部を改正する条例の反対討論と同内容(P6参照)により反対する。

請願

あらゆるハラスメントの防止を求める条例の制定を求める請願

請願者 西方 美智

ほか4人

紹介議員 牛島 孝之

【請願要旨】

近年、自治体や議会におけるハラスメント行為が大きな問題となっている中、ハラスメントは人権問題であるとの認識にたち、対市民を含めた「あらゆるハラスメント」の防止を求める条例の制定を求めるもの。

【付託された総務文教常任委員会での審査結果】

ハラスメントに関する実態や法制上の枠組み、制度設計を含め、慎重に調査・研究すべきであり「継続審査」とすることに賛成多数で決しました。

その結果、「継続審査」の採決が本会議で行われました。

【本会議での討論】

《反対討論》要旨

この条例を制定することの意味があるため「継続審査」とすることに反対する。

(牛島 孝之)

《賛成討論》要旨

近年、ハラスメントが深刻な社会問題となっている中、ハラスメントのない地域社会の実現は、議会としての大きな役割である。積極的に調査研究することが必要であり、「継続審査」とすることに賛成する。

(川口 誠二)

《反対討論》要旨

近隣自治体でもハラスメントに関する条例が制定される中、八女市においても条例を制定することで、市民への契機となり、公益につながると考えるため反対する。

(坂本 治郎)

採決の結果、賛成多数で「継続審査」となりました。

人事案件

次の方を選任することに同意しました。

固定資産評価 審査委員会委員

あらお よしもり
荒尾 好守氏

教育委員会委員

ひがし ひろおみ
東 博臣氏

次の方を適任と認めました。

人権擁護委員

いのうえ みつひろ
井上 光洋氏

しおつか みつのり
塩塚 光徳氏

しもがわ てつろう
下川 哲郎氏

まついえ とくお
松家 徳雄氏

総務文教

審査の主なもの

○令和5年度八女市一般会計補正予算(第11号)【賛成多数で可決】	
・ふるさと支援寄附事業……………1億5247万円	
○令和6年度八女市一般会計予算【賛成多数で可決】	
・総合計画策定事業……………537万円	
・集落支援員設置事業……………2670万円	
・防災総務費……………6362万円	
・教育相談員派遣事業……………3150万円	
○あらゆるハラスメントの防止を求める条例制定を求める請願	
【継続審査で可決】	

万一の大規模災害に備え、新たな災害用機材を整備

問 災害用トイレトレーラー、大型浄水器とは。

答 災害時に様々な場所で利用できるよう、牽引型キャンピングカー程度の大きさのトイレトレーラーを整備する。大型浄水器は、河川等から水を吸い上げ浄化することで、1時間に350Lの飲料水が確保できる。

問 総合計画策定事業

答 総合計画の前期基本

問 集落支援員設置事業

答 集落支援員(※)6名はどこに配置するか。

問 旧市町村単位で1名

答 計画の振り返りと後期基本計画の審議会の予定は。

問 毎年評価検証を行っている。後期基本計画の審議会は、計画が固まった段階の令和7年度を予定している。

問 集落支援員とは？

答 市とも連携し、集落への目配りや集落の巡回、状況把握等を行う人

問 集落点検の実施

答 集落のあり方についての話し合い

問 集落の維持・活性化に向けた取り組み

答 集落点検の実施

問 集落のあり方についての話し合い

答 集落の維持・活性化に向けた取り組み

問 集落点検の実施

答 集落のあり方についての話し合い

問 集落の維持・活性化に向けた取り組み

答 集落点検の実施

問 集落のあり方についての話し合い

答 集落の維持・活性化に向けた取り組み

問 集落点検の実施

答 集落のあり方についての話し合い

問 集落の維持・活性化に向けた取り組み

答 集落点検の実施

市直営で東部地域包括支援センターの運営へ

問 各地域への人員配置・支援体制は。

答 各支所に配置して、人員や業務を黒木支所に統合・集約し、黒木支所から各地へ向かい支援する。

問 八女東部地区住民にとって、相談や手続きが困難になるのではない

か。

答 一番身近な窓口である支所職員と包括支援セ

ンターの職員との連携を強化するなどの支援体制を構築する。

問 これまで従事していた民間事業者からの引き継ぎは完了しているのか。

答 事業者から、引き継ぎが必要な対象者を洗い出して、新たに採用する職員に引き継いでいただく予定である。

問 放課後児童健全育成事業(施設整備)

答 放課後児童健全育成事業

問 高齢化率の高い八女東部地区住民へ介護事業

答 介護保険事業費特別会計

問 見崎校区義務教育学校区学童保育所の整備内容。

答 学校敷地との関係上、土地を取得し、平屋建て1クラス40人の3クラス、利用定員120人程度の施設を計画している。

問 介護保険事業費特別会計

答 介護保険事業費特別会計

問 高齢化率の高い八女東部地区住民へ介護事業

答 介護保険事業費特別会計

問 介護保険事業費特別会計

答 介護保険事業費特別会計

問 介護保険事業費特別会計

答 介護保険事業費特別会計

問 介護保険事業費特別会計

答 介護保険事業費特別会計

問 介護保険事業費特別会計

答 介護保険事業費特別会計

議会の動き

2月

- 6日 議会運営委員会
広報委員会
- 7日 全員協議会
- 13日 総務文教常任委員会
- 15日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 16日 議会運営委員会
- 19日 八女西部広域事務組合議会
- 20日 県南広域水道企業団組合議会
八女地区消防組合議会
- 21日 令和6年第2回定例会(招集日)
全員協議会
- 26日 本会議(一般質問)～29日
- 28日 議会運営委員会

3月

- 1日 本会議(議案審議)
- 5日 各常任委員会・分科会 ～6日
- 12日 予算審査特別委員会全体会
議会運営委員会
- 14日 令和6年第2回定例会(最終日)
全員協議会
議会運営委員会
議会活性化検討委員会
- 26日 公立八女総合病院企業団議会
- 28日 広報委員会

4月

- 3日 全員協議会
議会運営委員会
- 8日 広報委員会
- 14日 新庁舎完成記念式典
- 17日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会



建設経済

審査の主なもの

- 令和5年度八女市一般会計補正予算(第11号) 【賛成多数で可決】
- 令和6年度八女市一般会計予算 【全会一致で可決】
 - ・農業総務費・・・・・・・・・・6億5696万円
 - ・路線バス代替運行事業・・・・・・・・4791万円
 - ・市制70周年・合併15周年記念事業・・・・・・・・1399万円
 - ・観光協会事業・・・・・・・・・・1037万円
- 令和6年度八女市水道事業会計予算 【全会一致で可決】
- 令和6年度八女市下水道事業会計予算 【全会一致で可決】

10年後の地域農業を見据えた地域計画を策定

問 地域計画の策定は、

将来の農地の維持管理の

指針となる重要な計画と

なるため、しっかりとし

た計画となるようお願い

したい。

答 令和5年度に市内6

地区で地域住民や関係機

関などで構成する「地域

計画策定推進委員会」を

設置した。今後、計画策

定に向けた協議を進めて

いく。

問 路線バス代替運行事

業の内容は。

答 堀川バス羽矢線の黒

木柴庵間の減便を補うた

め、八女市地域公共交通

協議会による朝夕の各1

便とスクール便1便の実

証運行を行う。

市制70周年・合併15周年

記念事業

問 福岡市内で開催予定

の記念事業に高額な予算

を計上されているが、ど

が計上されているが、ど

のくらいの事業効果を見

込んでいるか。

答 福岡市はインバウン

ド需要もあり、記念事業

を契機とし、八女市内へ

の観光客の誘導を見込ん

でいる。また、WEB広

告等を活用したPRや市

内での祭り等とも連携さ

せたい。

観光協会事業

問 観光事業で取り組む

答 市内の様々な観光素

材を集約・データベー

ス化し、各メディア等が行

う市内での映画、CM、

ドラマ撮影の際の素材の

提供による支援を行うこ

とで、観光アピールにつ

なげる。

こ こ が 聞 き た い ! 一般質問

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。ここに掲載できない質問答弁や過去の各議員の一般質問は、八女市議会ホームページ等をご覧ください。（データ通信料は利用者負担となります。）



月日	質問者	質問事項	掲載ページ
2月26日 (月)	高橋 信広	1 健康寿命の延伸について 2 まちづくりについて	11
	堤 康幸	1 ナシ赤星病対策について 2 中山間地域樹園地の継承について	11
	三角 真弓	1 第5次八女市総合計画の進捗状況について 2 学校施設環境改善の取組について 3 乳幼児期の子育てについて	12
	石橋 義博	1 公立八女総合病院問題について 2 経済対策について	12
2月27日 (火)	栗原 吉平	1 森林環境譲与税について	13
	古賀 邦彦	1 防災・水害対応について 2 小中学校の教育環境について	13
	原田 英雄	1 頻発する気象災害への対応について 2 空き家と遊休農地の活用促進について 3 農業・農村の担い手確保について	14
	川口 堅志	1 老朽化した市営住宅の今後の取組について 2 まちのコインの現状と新たな取組について 3 漬物工場への支援について	14
2月28日 (水)	水町 典子	1 福祉・介護事業の現状と課題について 2 選挙の投票率について	15
	高山 正信	1 八女市の農業のあり方について 2 立花町光友地区のまちづくり（土地利活用）について	15
	牛島 孝之	1 農業、林業の活性化についての八女市の考えは 2 八女市の教育・文化について 3 相続登記の義務化、相続土地国庫帰属制度について	16
	花下 主茂	1 八女市立図書館について 2 一般国道3号広川八女バイパス事業について 3 木質バイオマス発電について 4 子育て支援について	16
2月29日 (木)	森 茂生	1 マイナンバー制度について 2 学校教育について	17
	坂本 治郎	1 進む国際化社会とどう向き合っていくのか市の考えは 2 ハラスメントやいじめなどコンプライアンスが厳しく なってくる昨今、市はどう向き合っていくのか	17
	田中 栄一	1 令和6年6月に改正食品衛生法が完全実施される、漬物生産者の支援をどう考えているか	18
	久間 寿紀	1 八女市の財政について	18

立地適正化計画に基づく中心市街地の活性化はどのように進めるのか

市長 都市再生整備計画を策定し、市全体の発展につながる整備促進に取り組む

映像配信
サイト



議員 都市再生整備計画の具体的な内容は。
課長 立地適正化計画に定める福島地区において、都市機能の向上と人口集積を高めるために、道路や河川の整備も含めた計画を考えている。
議員 エリアによっては早期に進めないと、民間開発によって手遅れになる。例えば、杉町の北部は住宅が密集しているが、インフラ整備が遅れている。南部はこ



れから開発が進むと思うが、どうやっていくのか。
副市長 八女学院や地域住民の意見を聴きながら、令和6年度に取り組むよう、各部門に具体的な施策を促していく。
議員 本市はフレイル（※）サポーターを設置しているが、どのような活動か。
課長 養成講座を受講した人であり、登録者は41名である。サロン等に出向き、フレイルチェックや講話を行っている。
議員 フレイル対策によって、健康体を取り戻すとともに介護給付費の抑制が可能となるが、フレイルに対する考えは。
市長 フレイルは重要な課題であり、必要に応じて他市の状況を把握しながら進めたいと考えている。
※フレイル 「健康」と「要介護」の中間の段階であり、身体的、精神的、社会的な脆弱性を抱えている状態のこと。

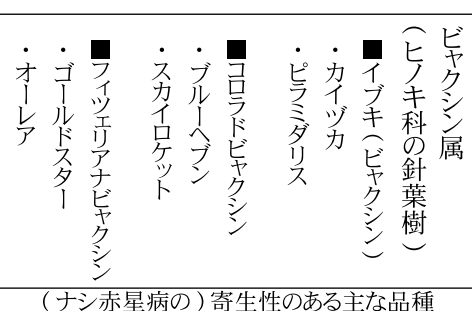
ナシ赤星病撲滅対策を強化し、継続されてきたが、近年の発生状況は

市長 バクシン類の伐採等の実施で、果実への実害はほぼ発生していない。

映像配信
サイト



議員 この病害の撲滅に、なぜ市民や事業者の協力が必要なのか。バクシン類との関係の説明を。
課長 ナシ赤星病（※）に感染すると、落葉や果実の品質低下により、出荷ができないようになる。大変おそろしい病気である。効果的な対策は、風向きにもよるが、ナシ園の2から3km圏内にバクシン類が植栽されていないことである。
議員 最近、市内各所でコラドバクシン等の新植を見かけるが、植栽自粛の依頼等は行っているか。



課長 農地を転用して住宅等を建築される場合、転用申請時に撲滅対策のチラシを配布し、協力をお願いしている。
中山間地域樹園地の継承について
議員 継承されない樹園地が増えると、災害危険度の高まりなどの悪影響がある。市民や市政への様々な悪影響が出てくる。考えるが。
副市長 八女市で農業をしたら面白いと思ってもらえるような、あらゆる対応が必要と考えている。
の産め、植皆お
の特たを、力を
のる類う、を
市守シよ協
女クないご
ナシヤしない
バク栽します
裁しまい願
しさい願
※ナシ赤星病 春から夏には「ナシ」に、夏から冬にかけては、「バクシン類」に寄生する異種寄生菌による病害。

安心・安全なまちづくりのための地域共生社会の実現はできているのか

市長

世代や分野を超えた支援体制の充実を図り、地域住民の支え合いをめざしている

映像配信
サイト



三
角
真
弓
み
す
み
ま
ゆ
み

新議場紹介

定例会

委員会審査

一般質問

活動報告

採決結果

議員 旧町村の人口は合併時と比べ平均65・37%にまで減少しているが、その原因は。

課長 少子高齢化の進行や様々な事情で旧八女市への転居も多くなったものと分析している。

議員 少子高齢化の中、合併して15年目、地域共生社会の基盤となる地域包括ケアシステム(※)の仕組みはできているのか。

副市長 社会情勢も変わる中、支援体制づくりに取り組んできたが、地域の方々の情報をさらに捉えていく。

旧市町村ごとの人口比較表

地域名	八女市	旧八女市	旧上陽町	旧黒木町	旧立花町	旧矢部村	旧星野村
人口データ							
平成22年人口(3月末)	70,671	38,135	3,686	12,803	11,227	1,551	3,269
令和5年人口(12月末)	60,092	37,782	2,395	8,942	8,010	886	2,077
増減数(H22～)	-10,579	-353	-1,291	-3,861	-3,217	-665	-1,192
H22年3月末と比較したR5年12月末の人口割合	85.03%	99.07%	64.98%	69.84%	71.35%	57.12%	63.54%

議員 能登半島地震を教訓とした災害対策について

議員 土砂災害区域が多い中山間地域への対応は。

課長 平常時の防災訓練や災害時の避難先、要配慮者等盛り込んだ地区防災計画の作成が重要であり、現在35地区が作成している。

議員 学校施設の改善への取り組みについて

議員 学校施設のトイレの改修を早急に提案したい。また、築50年以上経過している学校があるが、建て替えの計画は。

課長 建て替えは高額となるため、学校施設長寿命化計画に基づき、長く使えるよう改修している。

※地域包括ケアシステム
高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で助け合いながら自立して日常生活を営む体制のこと。

のよと全へる学全
減少な料の
止め育費の
う、保食を
、給食化を
無償化は。
き

公立八女総合病院の経営状況と今後の方針は

市長

公立八女総合病院企業団において、審査及び議論がなされている

映像配信
サイト



石
橋
義
博
い
し
ば
し
よ
し
ひろ

議員 公立八女総合病院における医師不足や赤字経営に対し、企業団の企業長の任命者として、市長は改善に向けた努力を促すべきでは。

市長 高度な医療の提供や久留米大学からの派遣医師を確保することが重要であると認識している。

議員 病院の新築移転費の約300億円、毎年10億円ほどの赤字経営により、財政調整基金も底を尽きかけている現状をどのように思われるか。

市長 企業長の任命者としての責任はあるが、企業団の運営については、



企業長が責任を持って対応すべきである。

経済対策について

議員 経済対策のため、大都市圏へのアンテナショップの新店や企業誘致を積極的にやるべきである。八女市出身の起業家などに声掛けをするなど、幅広い経済対策に力を入れてはどうか。

課長 企業版ふるさと納税制度のPRや企業誘致を行っている。

議員 中山間対策における所得向上の取り組みはないか。

課長 商工部門では、市内での起業家による地域活性化ができないカアンケート調査を実施し、新しい経済対策を検討している。

めら何百億がうて
が金のの考
長にの重
企後借の
業のれ
団の円と
のの少
とのし
だいた
い

森林環境譲与税はどう活用しているか

市長

森林整備、担い手対策、木材利用の促進等に活用している

映像配信
サイト

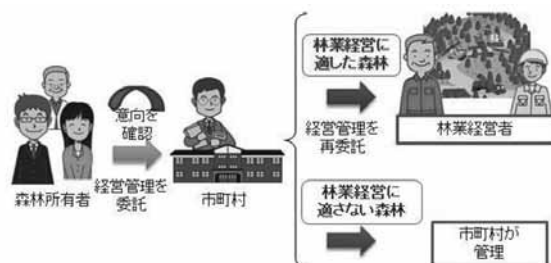


議員 森林環境税について
個人住民税の均等割はどうなっているか。

課長 内訳は市民税3千円、県民税千円、国税分の森林環境税が千円、県税分の森林環境税が五百円の合計で五千五百円となっている。

議員 森林環境譲与税について
令和6年度からの森林環境譲与税に関わる譲与配分の配分見直しはどうなっているか。

課長 譲与基準に用いる私有林の人工林面積の譲



森林経営管理制度

与割合を現行の50%から55%に、人口の譲与割合を30%から25%に改正され、残りの20%は従来どおりの林業従事者の割合となっている。

議員 林業振興について
林業施策には、森林経営管理制度(※)の取り組みが重要であると考えますが、その状況は。

部長 制度を活用し、市や林業事業者による管理を今後進めていく。

議員 人材の育成、担い手確保のための施策は。

副市長 森林担い手の確保のため、危機感をもって民間事業者や学校と連携するなど、幅広く取り組んでいく。

※森林経営管理制度
森林所有者が管理できない森林を市町村や林業経営者が代わって管理する制度。

の整備されている魅力です。八女市を育む森林は水森たはるです。

能登半島地震の教訓を活かすため、地域防災計画の見直しが必要ではないか

課長

国・県の防災計画との整合性を図りながら、必要に応じて改定を行う

映像配信
サイト



令和5年7月豪雨災害復旧工事計画について

議員 災害復旧工事の進捗状況は。

市長 令和5年度に約4割、令和6年度に約6割を発注する計画で進めている。

災害時対策について

議員 能登半島地震は、想定をはるかに超える地震の強さであった。水縄活断層も過去に大地震を起こしている。八女市の地域防災計画を抜本的に見直すべきではないか。

課長 国の防災基本計画及び県の地域防災計画との整合性を図りながら、必要に応じて改定を行うっていく。

防災井戸の設置について

議員 災害時の水の確保が大きな問題である。防災井戸の設置の考えは。

市長 公共的な水の確保は必要であり、今後研究していく。

岡山小学校児童数増加に伴う校舎増築等について

議員 令和7年度以降の教室数不足への対応は。

課長 家庭科室などの特別教室を敷地内に増築し対応する計画である。

避難所指定体育館への空調設置について

議員 国の補助制度を活用し、体育館への空調設備の設置はできないか。

課長 設置費が高額となり、考慮を要する。



能登半島地震で被災した家屋
(石川県珠州市飯田町)

原 田 英 雄
はら だ ひで お



映像配信
サイト



八女市の公共施設の耐震状況と今後の対策はいかに

市長

令和4年度末で耐震化率87%であり、計画的な耐震化を検討する

議員

災害対応の拠点となる各支所の耐震状況は、

課長 上陽支所と星野支所については、新耐震基準以前の建築のため今後調査する。

議員

民間住宅の耐震化への支援策は、

課長 耐震改修工事費の40%、60万円を上限に補助している。

議員

能登の震災から学ぶ今後の対策は、

課長 広範な八女市において、災害対策本部と各支所がより連携して対応できるよう、平常時から実態に即した体制構築を進めることが重要である。

空き家と遊休農地の活用促進について

議員

空き家バンク制度で過疎を克服した自治体



大雨で通行止めになった県道

もあり、本市も103件の成約があるが、今後の対応は、

課長 空き家情報の掘り起こしと地域おこし協力隊による移住・定住支援を予定している。

議員

農業・農村の担い手確保について

議員

担い手不足への対応は、

市長 認定農業者、新規就農者、農地所有適格法人、女性農業者及び集落営農組織等の多様な担い手への支援策を講じ、将来の農業を担う経営体の育成確保に努める。

たる。自防組は、地域防犯組織と連携し、災害発生時の対応に努める。

災害発生時の対応に努める。

老朽化した市営住宅の今後の取り組みについて

市長

公営住宅等長寿命化計画に基づき、適時計画的に修繕する

映像配信
サイト



川 口 堅 志
かわ ぐち かつ し

議員

老朽化している市営住宅の改修はどのようなになっているか。

課長 劣化状況に応じた応急的な改修や住宅が長期にわたって維持管理できるよう、入居者が安心して暮らせる住環境づくりに努めている。

議員

今までの計画も必要ないか。

課長 住宅に困窮されている方への配慮、また定住促進の受け皿となる市営住宅の供給も必要と考えている。

地域通貨「まちのコイン」の現状について

議員

導入から5年が経



過したが、当初の目標は達成したか。

課長 約6900名が利用し、加盟店が277カ所となっており、目標は達成している。

議員

漬物工場への支援について

議員

漬物製造している方、また営業許可を取得されている方はどれくらいか。

課長

製造者91件、営業許可取得者35件である。漬物製造が維持できるとは、支援策はあるか。

介護福祉の人材不足が懸念される中、八女市に何が求められるか

市長

国・県の状況の把握と、市内施設の実態を調査し、支援策を研究していく

映像配信
サイト



が行われているが、八女市での取り組みは。

課長 中学校の生徒会役員選挙に、実際の投票箱や記載台を貸し出し、選挙を体験する取り組みを行っている。また、高校生の選挙への関心を高めるため、選挙啓発冊子の配付を計画している。

議員 関係各所が協力し、投票率向上のための取り組みが必要であると考え

市長 事業効果の検証や新たな取り組みも検討し、選挙管理委員会とともに、今後の投票率アップに向けて努力していく。

議員 高齢者福祉施設は、県と市に指定先(※)が分かれており、市内の施設であれば、県指定施設であっても、市に相談に来られる場合もあると思うがその対応は。

課長 どの指定先であっても、早急な対応が必要である。十分な聞き取りや関係機関との連携で、解決に向けて対応している。

選挙の投票率について

議員 投票率向上のため

他自治体では、特に次世代での給食選挙や未来の市長を選ぶ模擬選挙など

福祉・介護職員の
処遇が改善され、誰
もが笑顔でなあれ。

※指定先

対象者やサービス内容により、県または自治体が事業者として指定している。

立花町光友地区土地利用計画の策定をスピード感をもって対応するべきでは

副市長

都市計画上、重要な地域と認識しており、速やかに整理し、着手に向けて取り組んでいく

映像配信
サイト



光友地区における将来のまちづくり計画

議員 光友地区の土地利用計画について、関係部署での話し合いはされているか。

部長 人口減少対策の観点からも重要な地区だと認識しており、関係部署だけでなく、部門ごとの個別会議も行っている。

八女市の農業のあり方について

議員 荒廃農地が増加しているが、どのような対策を行っているか。

課長 農業委員会による農地パトロールを実施しており、荒廃農地を発見した場合は、所有者への適正管理のお願いや耕作者の掘り起こしなど、適正な農地の利活用を推進

議員 事業着手までのスケジュールは。

室長 現在、県内で実施している例では、事前審査から7年後の事業着手となっている。

議員 特に中山間地の農地の維持、担い手の確保のためには、農地の基盤整備が不可欠であるが、農家負担のない事業はないか。

室長 事業採択まで厳しい審査があるが、福岡県が事業主体となる国の補助事業で、国が62・5%、県が30%、市が7・5%、地元負担0%の事業がある。

牛島孝之
うしじまたかゆき映像配信
サイト

相続登記の義務化、相続土地国庫帰属制度の市民への周知は

市長

ホームページや広報、固定資産税納税通知書等で周知を図っていく

議員

相続登記義務化の内容は。

課長

令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化となり、3年以内に登記しないと10万円以内の過料に処される。

議員

相続登記国庫帰属制度の内容は。

市長

一定の要件を満たすことで、相続等により取得した土地を国庫に帰属させることのできる制度である。

農業・林業の活性化について

議員

農業・林業の活性化についての市の考えは。

市長

農業については、関係機関と連携し、認定農業者、新規就農者、農地所有適格法人、女性農業者及び集落営農組織等

令和6年4月1日から
相続登記の申請が
義務化されます！不動産登記推進イメージキャラクター
「トウキツネ」

の多様な担い手への支援策を講じながら、農業・農村の持続的発展に努めている。

また、林業については、国・県・市事業の推進による林業経営の基盤強化並びに担い手の育成、確保を図るため、林業の活性化の取り組みを進めている。

木質バイオマスについて

議員

木質バイオマスについての市の考えは。

市長

原材料の安定的な供給と森林資源の持続的な利用の両立が課題であり、現在、民間企業との共同により森林資源の循環利用と有効活用について研究している。

八女市図書館本館の整備基本計画の中身と財政的側面について問う

市長

子どもたちの触れ合いの場として、財政も十分配慮し検討している

映像配信
サイト花下主茂
はなしたあるも

議員

なぜ電子図書館の利用周知が進まないのか。

課長

10代の利用が少なく、呼びかけている現状である。

議員

本館の新築移転を想定した場合、総事業費等はどれくらいか。

課長

あくまでも想定した場合の総事業費は約36億円、運営費は年2億4千万円程となっている。

議員

将来負担を増やさない形であつてほしいが、

市長

十分配慮しながら検討していく。



国道3号バイパスについて

議員

開校予定の「みさき学園」の校舎真横を通る設計方針で、子どもたちへの影響が心配されるが。

教育長

どこを通るのかは把握していない。必要に応じて要望していく。

木質バイオマス発電について

議員

八女市の方針は。

課長

採算性が合わないという検討結果に至った。

議員

忠見校区で民間が建設計画を進めているが、どう受け止めているか。

課長

住民と調和形成に努められるよう期待する。

議員

子育て支援について

議員

待機児童と入所保留児童の定義は。

課長

実質的には同じで、令和6年4月での入所保留29名、待機児童は0名である。

議員

今後の対策は。

課長

市内の特定の拠点から空きのある保育園に送り送る事業を実施予定である。

森 もり
茂 しげ
生 お



映像配信
サイト



不登校児童生徒の現状とその対策は

教育長

令和6年1月までで小学生72人、中学生110人であり、増加傾向である

議員

中学生の不登校生徒数は平成30年が46人、その後毎年増え続け、令和6年1月には110人となり、由々しき事態であるが、どのような認識か。

教育長

全国的にも増加傾向であるが、魅力ある学校づくりが必要であると思っている。

課長

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによるサポートを行っている。

議員

他自治体で取り組まれている社会復帰をめざす居場所づくりができないか。

教育長

居場所づくりは大切に、不登校の4割が社会との関わりをもつて



いないとのデータもあり、既存の教育支援センター「あしたば」以外にも社会とつながる居場所を設置することも今後考えたい。

マイナンバー制度について

議員

現在の健康保険証が令和6年12月に廃止となり、マイナンバーカードと一体となった「マイナ保険証」となる。現在の健康保険証が廃止となれば、混乱が予測されるため、健康保険証廃止の中止や延期をすべきと思うが市長の考えは。

市長

地方自治体の立場としては、円滑に運営できるように国と県に要請したい。

坂 さか
本 もと
治 じ
郎 ろう



映像配信
サイト



市としてもハラスメント防止条例をつくる検討をするべきでは

市長

職場におけるパワハラ防止対策の啓発をしており、条例の検討は行っていない

議員



進む国際化社会とどう向き合っていくか

議員

子供たちの未来への投資として、令和5年度実施の八女市青少年シアトル訪問事業のような事業の拡充はできないか。

課長

今回の実施は寄付者からの要望によるもので、単年度事業として考えている。

議員

社会の多様性、時代や価値観の変化の中で、

他自治体での事例もある入浴施設でのタトゥーを許可できないか。

課長

文化的、宗教的な観点もあることは理解するが、すぐには許可はできず、世の中の情勢を注視したい。

議員

お茶に特化した観光やまちづくりという観点から、中国や台湾のようなお茶の文化のある生産地との国際姉妹・友好姉妹都市提携ができないか。

市長

国際交流を進める事は重要と認識し取り組んでいるが、政治的な問題もあり慎重に考えたい。

人口高年齢化や若者の流出を憂い、もって欲しいと、若者のニーズに目を向けた政策を!!

田中栄一

映像配信
サイト

漬物を製造し販売される方の加工場 整備への支援はできないのか

市長

現在の活動を継続するための支援が必要であると考えている



「あの人の梅干しは美味かった」と過去形にしないためにも

議員 県は手作り漬物助成制度を設ける方針である。市の追加助成策は講じないのか。

課長 既存の助成制度がある。今後、県の事業を精査し、カバーできるか検討したい。

議員 法人や団体を対象とした既存制度にこだわらず個人への助成は考えられないか。

市長 長年の努力は認識しないといけない。今後の検討課題にしたい。

人材育成をどうする

議員 行政による助言指導のもと加工グループの立ち上げはできないか。

副市長 普及指導センターの力を借りながら継続する手法は支援できると考えている。

一元的な相談窓口の設置等は

議員 一元的な相談窓口を設置すべきではないか。

副市長 形態が様々であり一括は難しい。問合わせがあれば連携して対応していく。

市の遊休施設の活用を

議員 市有の遊休施設を整備し貸し出す考えはないか。

副市長 遊休施設は積極的に活用したいが、施設によっては課題も多いと考える。

漬物の原料の農産物を地元産品に調達したい。

※食品衛生改正法

製造・販売する漬物類は届出制だったが、令和6年6月から許可制となり、加工場に厳しい衛生基準が課せられる。

新庁舎建設費用の市の負担と 起債(借入れ)は

市長

合併推進事業債(※)や補助金等を活用し、市の負担を減らすよう努めている

映像配信
サイト

久間寿紀



議員 八女市の市債(借入れ)と基金(預貯金)の状況は。

課長 令和4年度末の市債は約326億円、基金は約191億円である。

議員 新庁舎の事業費、国・県・市の負担額は。

課長 令和6年3月時点での事業費総額は、約74億8千万円で、国が約29億1千万円、県が約2億8千万円、市が約42億9千万円を見込んでいる。

公立八女総合病院について

議員 建設に際し八女市が負担する費用は。

課長 地方公営企業であるため、企業債の借入れと病院事業収益によって賄われる。



昭和35年建築の上陽支所

議員 今後も公共施設の老朽化等、多額の予算が予測される中、財政面から市民の暮らしを支えることはできるのか。

市長 八女市の財政は他自治体に比べ、比較的良好な状況であると認識している。企業団であり市の直接的な負担はないが、市民の健康を守るためにも協力していく。

上陽支所の移転新築について

議員 上陽支所の移転新築の計画は。

市長 上陽支所を含め、各支所は防災拠点となる重要な施設であるため、様々な角度から今後検討する。

※合併推進事業債

合併した市町村が、市町村基本計画(新基本計画)に基づく事業を実施する際に、特例として認められている地方債(借入金)のこと。

課題踏破への3市独自の

研究企画の構築

〈建設経済常任委員会〉

1月10日～12日

建設経済常任委員会では、1月10日から12日に兵庫県朝来市の「農林業の振興」、京都府福知山市の「交通空白地有償運送」、兵庫県丹波篠山市の「鳥獣被害対策」の視察研修を行いました。

持続可能な農林業振興の取り組み

（兵庫県朝来市）

「朝来市住みたい田舎移住定住プロジェクト」により定住促進、新規就農者等の新たな担い手の確保に取り組みられています。新規就農者には認定農業者による個別指導を行うほか、林業においては、自伐型林業の推進にも積極的に、移住・定住の促進による農林業の担い手の多様化と育成が図られていました。

交通空白地有償運送

（京都府福知山市）

市内の交通空白地における有償運送を、地域で

災害の補償の対象となることや講習会費用の免除などのメリットがあるとのことでした。

また、獣害対策として「獣がい対策実践塾」を開催し、獣害対策の学習や放棄果樹園（柿）の有効活用、地域や市内外の学生と連携することで、関係人口の創出が図られていました。



丹波篠山市での研修

調査を終えて

視察先の3市とも本市

同様の課題がある中、市、民間団体、地域と連携した取り組みが行われていました。本市でも、広く情報を共有しながら課題解決につなげていきます。

（小山 和也）

市内3校の

公立小中学校を視察

〈総務文教常任委員会〉

1月17日

総務文教常任委員会では、1月17日に市内3校の公立小中学校の現地調査を行いました。

見崎中学校

（義務教育学校の開校に向けた建設予定地及び工事進捗状況を調査）

令和7年度の開校に向けた工事が進められています。視察時は増築のための擁壁（ようへき）工事が行われており、工事期間中の生徒の安全確保に努めているとのことでした。



新校舎の建設予定地

南中学校
（普通教室、通級学級教室環境等を調査）

ひとつの教室に41台の机が並び授業の様子を確認しました。タブレット端末などの教材が増え、生徒の体も大きくなる中で、何らかの改善の必要性を感じました。

また、令和6年度の新入生が2年生時に使う予定の教室には、エアコンが整備されていないため、設置を要求していくとのことでした。

岡山小学校

（普通教室、特別支援教室環境を調査）

毎年100名近くの新入生が入学しており、教室が不足するため、工作室を2つの普通教室に分ける改修工事が行われて

いました。

給食調理室では、児童数が増え、調理スペースを確保するために、牛乳用の冷蔵庫を廊下に移動されている現状を確認しました。

令和8年度には、児童数のさらなる増加により教室が不足することが想定されるため、教育委員会と対応を協議しているとのことでした。



工作室から普通教室へ改修

調査を終えて

児童生徒数の変動による教室及び教員の確保、校舎の老朽化対策が課題です。

学校施設の安全対策と教室環境の改善要望に引き続き取り組みます。

（古賀 邦彦）

1月臨時会の採決結果 (令和6年第1回臨時会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第1号	八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 説明：戸籍法の一部を改正する法律の規定の施行による地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、関係条例を改正するもの。	可決(多数)
議案第2号	令和5年度八女市一般会計補正予算(第10号)	可決(全会)

は賛否が分かれた議案です

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ―：議長 議長は採決に 加わりません	1 高橋 信広	2 花下 主茂	3 坂本 治郎	4 水町 典子	5 古賀 邦彦	6 久間 寿紀	7 原田 英雄	8 小山 和也	9 高山 正信	10 川口 堅志	11 田中 栄一	12 堤 康幸	13 石橋 義博	14 牛島 孝之	15 服部 良一	16 中島 信二	17 栗原 吉平	18 三角 真弓	19 森 茂生	20 栗山 徹雄	21 川口 誠二	22 橋本 正敏
議案第1号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	―

報告 (報告事項のため採決はありません)

報告第1号	専決処分について (事故による損害賠償) 説明：道路清掃中における車両損傷事故。
報告第2号	専決処分について (事故による損害賠償) 説明：道路清掃中における車両損傷事故。
報告第3号	専決処分について (事故による損害賠償) 説明：公用車と自転車による接触事故。

3月定例会の採決結果 (令和6年第2回定例会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第3号	八女市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：議員活動を充実させるため、政務活動費の月額1万円を3万円に増額するもの。	可決(全会)
議案第4号	八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係条例を改正するもの。	可決(多数)
議案第5号	八女市乳幼児・こども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 説明：中学生までの医療費の自己負担分を完全無償化するために、乳幼児・こども医療、ひとり親家庭等医療及び重度障がい者医療等の関係条例を改正するもの。	可決(全会)
議案第6号	八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について 説明：母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、関係条例を改正するもの。	可決(全会)
議案第7号	八女市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 説明：第9期八女市介護保険事業計画の策定にあたり、八女市介護保険事業計画等策定委員会による審議の結果を踏まえ、令和6年度から令和8年度までの介護保険料の基準額及び保険料率の改定と介護保険法施行令等の改正に伴い、介護保険料の段階の判定に関する基準について改正するもの。	可決(多数)
議案第8号	八女市ふるさとわらべ館条例及び八女市わらべの里公園条例の一部を改正する条例の制定について 説明：八女市ふるさとわらべ館わらべの里研修センターが施設の老朽化により、利活用が困難となったため、行政財産としての用途を廃止するとともに、市が直営で管理できるよう条例の一部を改正するもの。	可決(全会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第9号	八女市ほたと石橋の館条例の一部を改正する条例の制定について 説明：八女市ほたと石橋の館の再整備に伴い、施設名称、指定管理期間及び利用料金について改正するもの。	可決(全会)
議案第10号	八女市秘境杣の里溪流公園条例の一部を改正する条例の制定について 説明：八女市秘境杣の里溪流公園内の中央管理センターの解体に伴い、条例の一部を改正するもの。	可決(全会)
議案第11号	八女市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 説明：関係法令の改正に伴い、関係条例を改正するもの。	可決(全会)
議案第12号	八女市公民館条例等の一部を改正する等の条例の制定について 説明：立花公民館及び市立図書館分館等の機能を集約し、併せて働く女性の家及び研修センターを廃止するため、関係条例を改廃するもの。	可決(全会)
議案第13号	旧木下家住宅条例の制定について 説明：八女市の指定文化財である旧木下家住宅の保存と活用を図るため、指定管理者に施設の利活用を行わせることができるよう条例の全部を改正するもの。	可決(全会)
議案第14号	八女市人権・同和教育啓発センター条例の制定について 説明：あらゆる差別の解消に向け、八女市人権・同和教育啓発センターを立花庁舎内に設置するもの。	可決(多数)
議案第15号	八女市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について 説明：本町・高塚地区地区計画の都市計画変更決定に伴い、建築物の建築制限について必要な規定を定めるため、条例を制定するもの。	可決(全会)
議案第16号	八女市保健センター条例を廃止する条例の制定について 説明：八女市庁舎建設に伴い、八女市保健センターの建物を解体するため、条例を廃止するもの。	可決(全会)
議案第17号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について 説明：黒木町の山中辺地及び南笠原辺地に係る総合整備計画を策定するもの。	可決(全会)
議案第18号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 説明：黒木町の林道改良月足支線、林道改良鍋山線の事業費の変更と矢部村の日出・飛・土井間辺地に係る総合整備計画に林道改良桑取藪線を追加するもの。	可決(全会)
議案第19号	新市基本計画の変更について 説明：一部事務組合八女地区消防組合の本部庁舎建設事業に、合併推進事業債を活用するため、その前提となる新市基本計画に本部庁舎の整備を明記するとともに、計画期間を延長し、財政計画を変更するもの。	可決(全会)
議案第20号	財産の減額貸付けについて 説明：旧下辺春小学校の土地・建物の一部を小規模多機能型居住介護施設の運営を行っている事業者に引き続き減額して貸し付けるもの。	可決(全会)
議案第21号	市道路線の変更について 説明：新庁舎建設や工事に伴い、市道（福島92号線・長峰44号線・長峰171号線）の終点位置及び延長等を変更するもの。	可決(全会)
議案第22号	市道路線の廃止について 説明：調整池整備工事に伴い、市道長峰169号線を廃止するもの。	可決(全会)
議案第23号	令和5年度八女市一般会計補正予算（第11号）	可決(多数)
議案第24号	令和5年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第4号）	可決(全会)
議案第25号	令和5年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第4号）	可決(全会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第26号	令和5年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決(全会)
議案第27号	令和5年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第2号）	可決(全会)
議案第28号	令和5年度八女市水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全会)
議案第29号	令和5年度八女市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全会)
議案第30号	令和6年度八女市一般会計予算	可決(多数)
議案第31号	令和6年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決(全会)
議案第32号	令和6年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決(多数)
議案第33号	令和6年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決(多数)
議案第34号	令和6年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決(全会)
議案第35号	令和6年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決(全会)
議案第36号	令和6年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決(全会)
議案第37号	令和6年度八女市水道事業会計予算	可決(全会)
議案第38号	令和6年度八女市下水道事業会計予算	可決(全会)
議案第39号	工事請負契約の締結について（（仮称）八女市立みさき学園増築改修工事） 説明：イノウエ・末崎組特定建設工事共同企業体と（仮称）八女市立みさき学園増築改修工事の工事請負契約を締結するもの。	可決(全会)
議案第40号	令和6年度八女市一般会計補正予算（第1号）	可決(全会)
議案第41号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 《荒尾 好守》	同意(全会)
議案第42号	教育委員会委員の任命について 《東 博臣》	同意(全会)
請願第1号	あらゆるハラスメントの防止を求める条例制定を求める請願	継続審議 (多数)
委員会提出議案 第1号	八女市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について 説明：議会を新庁舎に移転するにあたり必要な事務手続きを改正するもの。	可決(全会)

山の井用水組合議会議員の選挙 《池尻 律芳、松門 徳明、樋口 健、古園井 寿、原口 保夫、橋爪 徳雄、松崎 和則 大坪 隆治、浜田 勝重》	当選 (指名推薦)
人権擁護委員候補者の推薦 《井上 光洋、塩塚 光徳、下川 哲郎、松家 徳雄》	適任と認める

は賛否が分かれた議案です

人権擁護委員とは…
人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしている方々で、法務大臣から委嘱され、積極的な人権擁護活動を行っていただいております。

固定資産評価審査委員とは…
固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関（行政委員会）の委員で、税や固定資産の評価について学識経験を有する者から、市議会の同意を得て市長が選任します。

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：議長 議長は採決に加わりません	1 高橋 信広	2 花下 主茂	3 坂本 治郎	4 水町 典子	5 古賀 邦彦	6 久間 寿紀	7 原田 英雄	8 小山 和也	9 高山 正信	10 川口 堅志	11 田中 栄一	12 堤 康幸	13 石橋 義博	14 牛島 孝之	15 服部 良一	16 中島 信二	17 栗原 吉平	18 三角 真弓	19 森 茂生	20 栗山 徹雄	21 川口 誠二	22 橋本 正敏
議案第4号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	継続審査（賛成多数）																					—

議案ってどういう意味？



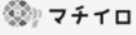
「議案」とは、議会の意思決定（＝議決）を必要とする市の重要な案件のことをいいます。
市が策定する総合計画や条例の制定・改正、予算、決算など提出された議案は、すべて議会でチェックしたうえで、議決します。議決には、対象となる事項、事柄により、可決、採択、承認など様々な形態があります。



議案には、市長から提出されるものと、議員または委員会から提出されるものがあります。

**5月7日（火）から
議会フロアが移転します。**
《移転先》
〒834-8585 福岡県八女市本町647
（八女市本庁舎内）
※議会フロアは4階です。
TEL：0943-23-4922
FAX：0943-23-4929
（※連絡先は以前と変更ありません。）

**議会だよりは
スマートフォンでも読めます。**
議会だよりはスマートフォンアプリ「マチイロ」で読むことができます。マチイロを利用するためには、スマートフォンに「アプリ」をダウンロードする必要があります。
※ アプリは無料ですが、通信料は利用者の負担となります。
※ 広告が表示されますが、内容に関しては市は関係ありません。



聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL. 16

ダニエル イノウエ ミュージアム 支配人 ^{ふか まち たつ や} 深町 竜也氏



平成13年より上陽町の自然や歴史、文化を学ぶことができる施設として、多くの人々に親しまれてきた「ほたと石橋の館」が「ダニエル イノウエ ミュージアム」という新しい名称で、より充実した施設へと生まれ変わりました。今回は支配人の深町竜也さんに施設の魅力と今後の展開をお伺いしました。

ダニエル イノウエ ミュージアムはどのような場所に生まれ変わったのかお聞かせください。

今回のリニューアルでは、皆様にこれまで以上に上陽町の魅力を感じていただけるよう、様々な点に工夫を凝らしております。

カフェレストランを新設し、地元の食材を使った料理やハワイ料理を楽しめたり、売店を拡充し地元の特産品も販売しています。またダニエル・イノウエさんの資料展示、VR体験では、八女の名所を訪れたり、ハワイを旅行しているような気分にもなれます。2階にはダンススタジオを併設しており、いろんなジャンルの方に利用していただくことができます。

この施設をどのような場所にしていきたいですか？

これまで利用されてきた方でも楽しめる場所としてはもちろん、観光客など、沢山の方に訪れていただけるような場所にしていきたいです。上陽町には伝統工芸をされている方も多く、地元の野菜や商品など魅力的なものがたくさんあります。今後、SNSを活用し、若年層の心をつかむような情報発信に取り組んでいきます。

議会に対してのメッセージをお願いします。

上陽町を活性化させることによって、八女市全体を活性化できるように頑張っていくしますのでよろしくお願いします。

議会を傍聴しませんか？
次回定例会
5月29日(水)予定

八女市役所本庁4階 午前10時から

八女市議会事務局 23-4922

発行責任者									
議長 橋本 正敏									
広報委員会									
委員長 古賀 邦彦									
副委員長 水町 典子									
委員									
花下 茂	坂本 治	久間 寿	原田 英	小山 和	高山 正	服部 良	水町 典	古賀 邦	橋本 正
花下 茂	坂本 治	久間 寿	原田 英	小山 和	高山 正	服部 良	水町 典	古賀 邦	橋本 正

編集後記

この度も八女市議会だよりをご覧いただき、ありがとうございました。

本年度は、八女市市制70周年・合併15周年と節目の年を迎えます。

70周年と言いますと、人間でいえば「古希」ですが、70年前に人生100年時代を迎えると想像できたでしょうか。

そのような時代の流れの中、令和6年3月定例

会をもって、立花庁舎議場での最後の本会議が開催されました。その最後の一般質問では、16人が登壇し、様々な議論がなされました。

次の定例会から新庁舎へと場所を移し、新たな時を刻んでいきます。

「変化」という言葉は良くも悪くも使われます。将来の子ども達のためにも、光り輝く変化になるように努めてまいります。

(高山 正信)